



文部科学省

公募について

公募の内容①

金額

1 研究課題あたり

年間500万～3000万円（直接経費）

- 3000万程度の課題：0～3件程度
- 500～2000万程度の課題：0～3件程度



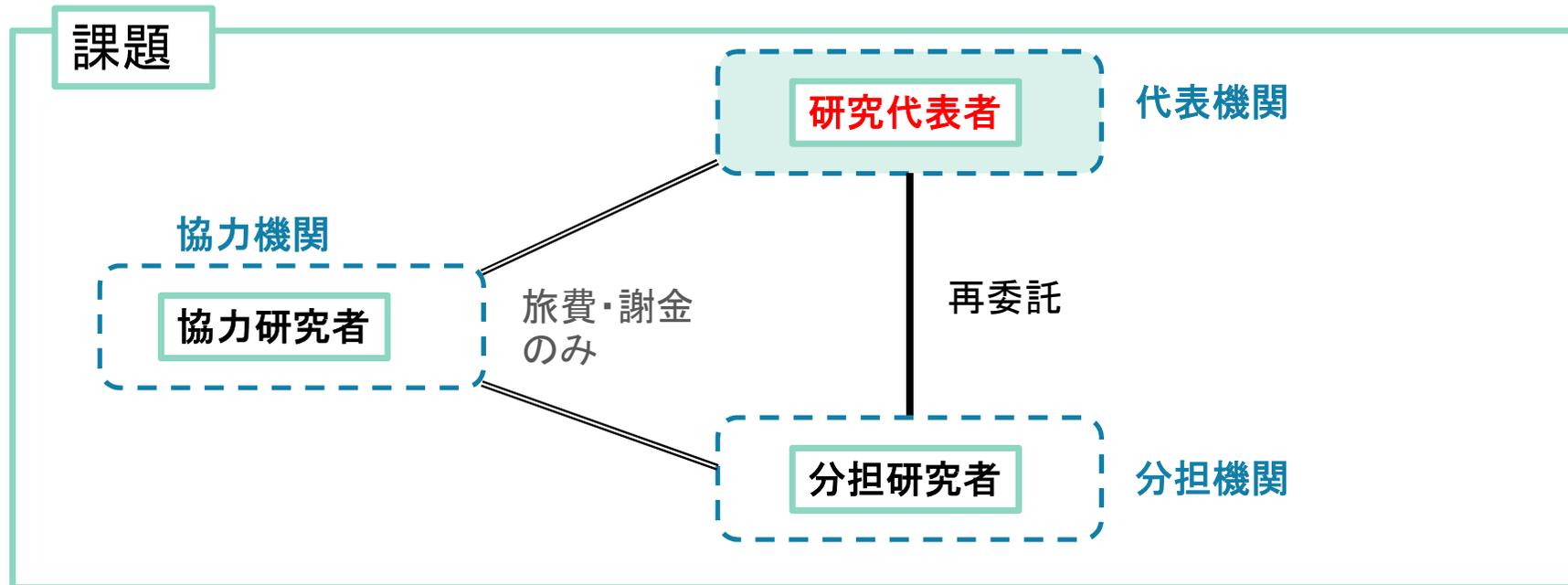
公募の内容②

体制

応募対象者は、国内の大学、研究機関、民間企業等に所属する個人もしくは研究チーム。

公募の内容②

<課題の研究体制図>



この体制の中で、適切かつ効果的に情報科学の専門知識・技術等を活用できることが評価項目となっております
後ほど、評価項目でご説明します

公募の内容③



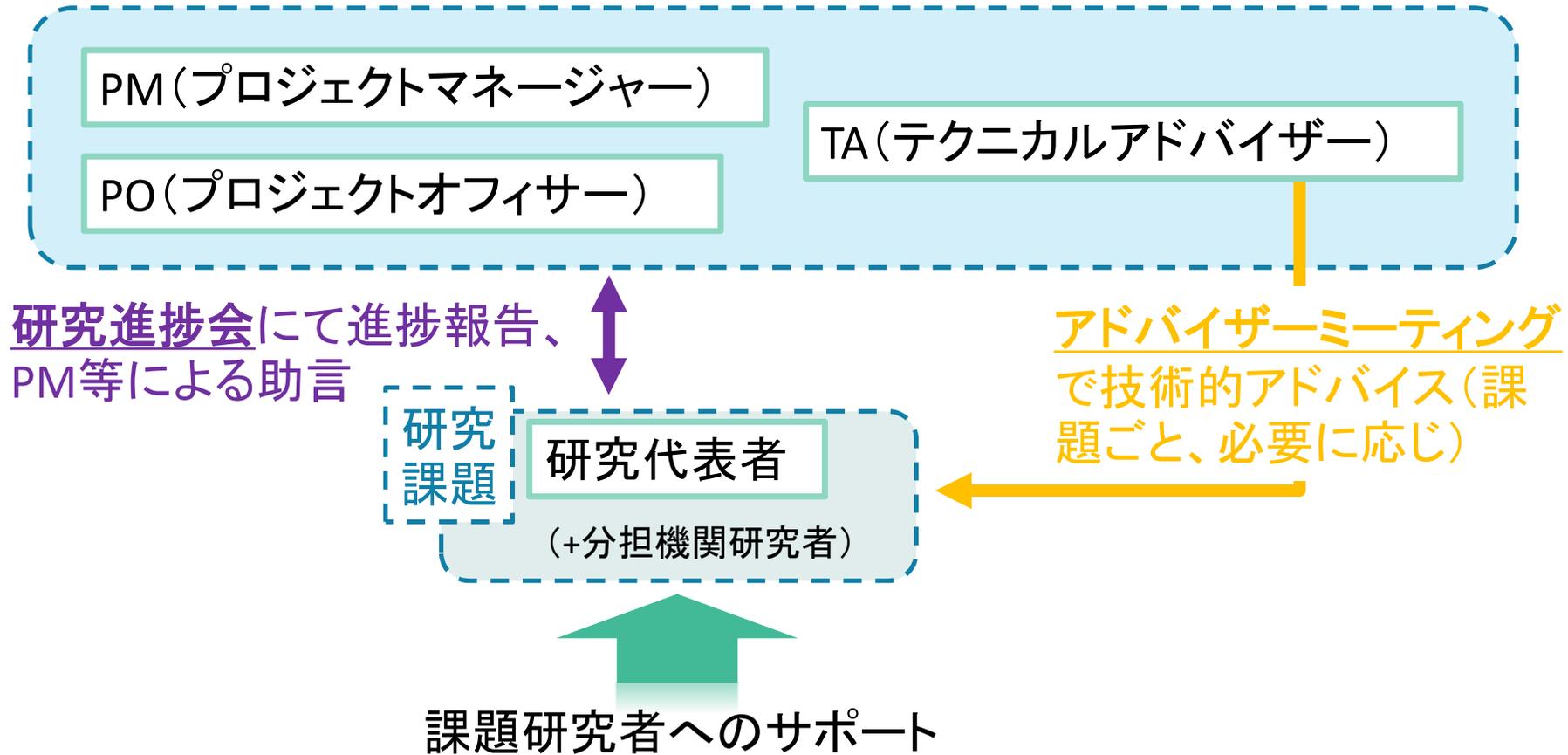
研究期間

令和3年度から令和7年度までの5年間。

(2年、3年等短い研究期間の設定も可能です)

プロジェクトの進め方

＜本プロジェクト全体の体制図＞





審査項目・応募書類について

審査項目及び応募様式の記載方法

※応募書類（別紙1）に誤記があったため、令和3年3月26日（金）に差替えを行い、再度掲載する予定です。（文科省HP、文科省公募システム、e-Rad）すでにダウンロードされた方におかれては、大変恐縮ですが27日（土）以降に、差替え版を再度ダウンロードしていただき、差替え後の様式を使用してください。

※（説明会后注釈）3/26に差し替えを実施済みです。

審査項目及び応募様式の記載方法

採択案件・件数・条件は、

外部有識者による審査委員会にて審査いただく。

- ▶ 基本項目と加点項目にて審査。（全体46.5点満点）
- ▶ 書類審査と面接審査の2段階で審査。

・情報科学をどのように活用して

・どのような成果を目指すか

を記載してください

審査項目及び応募様式の記載方法

<加点項目>

1 つめの加点項目

(ア) 情報科学の活用：以下、3項目で20点

①研究課題の遂行にあたり効果的に情報科学の専門知識、技術等を活用した提案となっているか。

→ **研究内容面の評価**

審査項目及び応募様式の記載方法

(様式2)

提案課題全体の研究計画

1-1 情報科学の活用

- 研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術等をどのように活用するか、具体的に記載してください。
研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術を活用するために、具体的に取組む事項を記載してください。(例：研究体制の整備)

(様式2) 提案課題全体の研究計画
1-1 情報科学の活用

- 研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術等をどのように活用するか、具体的に記載してください。

(様式2 つづき)

2. 研究内容

研究成果に向けたアプローチ（仮説・手法）について、記述してください。

(様式2つづき)
2. 研究内容

研究成果に向けたアプローチ（仮説・手法）について、記述してください。

審査項目及び応募様式の記載方法

<加点項目>

(ア) 情報科学の活用：

②研究課題の遂行に当たり適切に情報科学の専門知識・技術等を活用することが実現可能な体制となっているか

→ **体制面の評価**

※専門分野の研究者と組む場合だけでなく、
本人が既に情報科学分野での実績・知見がある場合も同様に評価



審査項目及び応募様式の記載方法

(様式5) 研究代表者及び研究者の研究歴等

(様式6) 研究者調書

研究歴（受賞歴・表彰歴を含む）、研究業績
実施中の研究テーマ
申請中の研究テーマ

(様式5)

研究代表者及び研究者の研究歴等

(1) 各研究者の研究業績詳細については(様式6)に記載してください。
(2) 募集要項「II. 4.(2) 審査基準及び配点 <加点項目> (ウ)」に該当する場合、博士号取得年月日及びそれに関する特記事項を記載してください。

ふりがな 研究者氏名 (所属機関名・ 所属部署・職位)	最終学歴 及び学位 (博士号取得情報及 びそれに関する特記 事項を含む)	専門分野	研究歴(受賞歴・表彰歴を含む)

(様式6)

研究者調書

所属機関・ 部署・役職・ 機関コード 番号		ふりがな 研究者氏名	
本事業のエ フォート率	%	e-Rad の研究者 番号 科研費研究者番 号(8桁)	生年月日 (西暦)
最終学歴 及び学位		専門分野	
研究歴(受賞歴・表彰歴を含む)、研究業績 本欄には、研究代表者及び研究分担者がこれまでに発表した論文、著書、知的財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを researchmap 等からコピーする等の方法で記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限り、 ① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。 ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主著者を数名記入し以下を省略しても可。			
実施中の研究テーマ			
申請中の研究テーマ			

審査項目及び応募様式の記載方法

(様式2)

提案課題全体の研究計画

1-1 情報科学の活用

- 研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術等をどのように活用するか、具体的に記載してください。
- 研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術を活用するために、具体的に取組む事項を記載してください。(例：研究体制の整備)

(様式2) 提案課題全体の研究計画

1-1 情報科学の活用

- 研究課題の遂行に当たり情報科学の専門知識・技術を活用するために、具体的に取組む事項を記載してください。
(例：研究体制の整備)

(様式2 つづき)

4. 実施体制

- 記載形式は自由です。
- 課題を構成する研究項目、研究内容、研究チームを構成する各機関の実施分担及び全ての研究の実施者の担当内容、指揮命令系統が分かるように記載してください。
- 研究課題の遂行に当たり適切に情報科学の専門知識・技術等を活用するため、今回構築した体制のポイント等があれば、補足説明をお願いします。

4. 実施体制

- 研究課題の遂行に当たり適切に情報科学の専門知識・技術等を活用するため、**今回構築した体制のポイント等があれば、補足説明**をお願いします。

審査項目及び応募様式の記載方法

<加点項目>

(ア) 情報科学の活用：

③研究代表者が情報科学の専門知識・技術等を理解し、
地震分野への活用の重要性を理解しているか

→**今後も含めた本分野での継続的な活躍期待性**



審査項目及び応募様式の記載方法

(様式2)

提案課題全体の研究計画

1-2 情報科学の活用への理解

- ・ 情報科学の活用に関連し、これまでの実績等（地震調査研究実績（共同研究含む）、情報科学等の研修の受講等、勉強会等への参加実績）があれば、具体的に記載してください。
- ・ 地震分野における情報科学の活用に関する見解（地震研究においてどのような取り組むべき課題があって、その課題を解決するためにどのように情報科学を活用すべきと考えるか等）を記載してください。

(様式2) 提案課題全体の研究計画

1-2 情報科学の活用への理解

- ・ 情報科学の活用に関連し、**これまでの実績等（地震調査研究実績（共同研究含む）、情報科学等の研修の受講等、勉強会等への参加実績）**があれば、具体的に記載してください。
- ・ 地震分野における情報科学の活用に関する見解（地震研究においてどのような取り組むべき課題があって、その課題を解決するためにどのように情報科学を活用すべきと考えるか等）を記載してください。

審査項目及び応募様式の記載方法

＜加点項目＞

2つめの加点項目

(イ) 地震分野への貢献：以下の、2項目で15点

- ① 研究課題を遂行することにより革新的・独創的な成果が得られ、地震分野の発展に資する知見となる研究であるか。

→**掲げる成果がdiscoveryをもたらすなど、地震学の発展に資するか**

審査項目及び応募様式の記載方法

(様式2)

提案課題全体の研究計画

1-3 研究期間終了後に想定される研究成果

- 提案内容により、どのような革新的、独創的な目的や成果を目指して行うものであるかを記載してください。

(様式2) 提案課題全体の研究計画

1-3 研究期間終了後に想定される研究成果

提案内容により、どのような革新的、独創的な目的や成果を目指して行うものであるかを記載してください。

1-4 地震分野の発展、地震防災対策への貢献

- 1-3で記載した成果が、地震分野の発展にどのように資するかを具体的に記載してください。
1-3で記載した成果によって、地震防災対策にどのように貢献するかも具体的に記載してください。

1-4 地震分野の発展、地震防災対策への貢献

- 掲げる研究成果が、地震分野の発展にどのように資するかを具体的に記載してください。

審査項目及び応募様式の記載方法

<加点項目>

(イ) 地震分野への貢献

②地震防災対策への貢献が見込まれる研究であるか

**→今すぐでなくても、将来的に研究成果により防災対策に何か新たな
視点をもたらすものであるか**

審査項目及び応募様式の記載方法

(様式2)

提案課題全体の研究計画

1-4 地震分野の発展、地震防災対策への貢献

- 1-3で記載した成果が、地震分野の発展にどのように資するかを具体的に記載してください。
- 1-3で記載した成果によって、地震防災対策にどのように貢献すると見込まれるかを具体的に記載してください。

1-4 地震分野の発展、地震防災対策への貢献

- 掲げる研究成果によって、地震防災対策にどのように貢献すると見込まれるかを具体的に記載してください。

審査項目及び応募様式の記載方法

<加点項目>

3つめの加点項目

(ウ) 若手研究者の参画：3点

若手研究者の参画を促進するため、**研究代表者が**

博士号取得後15年以内である場合、加点されます

審査項目及び応募様式の記載方法

(様式5)

研究代表者及び研究者の研究歴等

(1) 各研究者の研究業績詳細については(様式6)に記載してください。
 (2) 募集要項「II. 4. (2) 審査基準及び配点 <加点項目> (ウ)」に該当する場合、博士号取得年月日及びそれに関する特記事項を記載してください。

ふりがな 研究者氏名 (所属機関名・ 所属部署・職位)	最終学歴 及び学位 (博士号取得情報及 びそれに関する特記 事項を含む)	専門分野	研究歴 (受賞歴・表彰歴を含む)

(様式5) 研究代表者及び研究者の研究歴等

<加点項目> (ウ) に該当する場合、博士号取得年月日及びそれに関する特記事項を記載してください。

例)

20XX年〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻修了
 博士号取得年月日：西暦〇〇年〇月〇日取得
 (申請時、取得後〇年)

※研究代表者のみの記載でかまいません。

審査項目及び応募様式の記載方法



文部科学省

審査項目及び応募様式の説明は以上です